

令和2年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会 議事要旨

日 時：令和2年6月11日（木） 16：30～17：30

場 所：ZOOM を利用した Web 会議

構 成 員：9名

出 席 者：〈ZOOM〉5名

照屋淳（北部地区医師会病院）、又吉賢弘（沖縄県友声会）、朝倉義崇（中部病院）、
岸本信三（宮古病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠 席：4名

宮里浩（那覇市立病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）、松茂良力
（八重山病院）、野村寛徳（琉球大学病院第一外科）

陪 席 者：2名

伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター）、野底尚子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 医療部会 委員一覧について

増田副部会長より、資料1に基づき医療部会委員について説明があった。おおむね昨年と同様であるが、琉球大学病院から第一外科の野村先生が追加になったことが報告された。

2. 令和元年度 第1回沖縄県診療連携協議会 医療部会議事要旨について

増田副部会長より、資料2に基づき令和元年度第1回議事要旨について説明があった。確認をしていただき、疑義があれば事務局まで連絡するよう説明があった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 部会長及び副部会長の選出について

本来であれば委員の任期は一年であるが、昨年は1回のみ開催であるため、同メンバーで今年度末までお願いしたいとの意見があり、承認された。

また部会長と副部会長においても、部会長 宮里先生、副部会長 照屋先生、副部会長 増田先生にお願いすることとなった。

2. 沖縄県におけるがんゲノム医療について

増田副部会長より、資料3に基づき沖縄県におけるがんゲノム医療について説明があった。紹介医師を各施設1人に絞る件について、那覇市立病院 宮里先生、中部病院 吉田先生、北部地区医師会病院 照屋先生、宮古病院 松村先生、八重山病院 斎藤先生に決まったことが報告された。

院内研修会について、中部病院の吉田先生より「紹介状のフォーマットや病理検体の取り決めはいつ頃決まるのか」と質問があり、増田副部長よりフォーマットははやめに用意する旨が伝えられた。琉球大学病院へ紹介するときは①家族歴をきちんと確認しておくこと、②症例がきちんと適格症例か、③病理検体の状態（何年前のものか）が要点になると説明があった。吉田先生より「スライドの枚数等は指定があるのか」と質問があり、増田副部長より「提出枚数はSRLと調整中」と回答があった。

研修会の日程について、中部病院は6月24日（水）に予定、北部地区医師会病院は中外製薬が研修会を開いてくれることになったが具体的な日にちは未定、宮古病院からは未定との報告があった。

又吉委員から事前にもらっていた質問（「がん遺伝子パネル検査に関する同意書」より、がんに関する遺伝の情報が伝えられない家族が発生することについて、どのような対応が良いか）について、増田副部長より「がん遺伝子パネル検査に関する同意書」に基づき説明があった。現在同意書の結果を伝えたい方の連絡先には1名分しか欄がないので、増やした方が良いという意見で一致した。又吉委員より「変更申出書があるが、増田先生の面談の段階で踏み込んで聞くのか、検査をスタートした後に担当医が追加で説明をするのか」と質問があった。増田副部長より「増田が初診時に一通り説明をし、別日に専門医によるプレ遺伝カウンセリングを受けてもらうが、その際に情報を誰に話すかを決めてもらう」と説明があった。「患者本人の混乱を避けるため、検査結果が出る前に決めていた方が良い」との意見もあった。

照屋副部長より「検査の結果説明は主治医からか」と質問があり、増田副部長より「結果返しは増田より行うが、治療は原則元の病院で行うことになる。この検査で有効と出る薬物療法は本土の病院でしかできない場合もあると想定される」と説明があった。岸本委員より「本土へ治療に行く件は増田先生から説明か」と質問があり、増田副部長より「増田より説明する」と回答があった。

3. 今年度の開催日程について

議事次第のとおり説明があり、提案の日程で承認された。

4. その他

朝倉委員より「他院からの受け入れは何件を予定しているか」と質問があり、増田副部長より「1日1～2人、週5名ほどで考えているが、今のところ制限をかける予定はない」と回答があった。岸本委員より「離島の方が本島で化学治療をしていて、遺伝子パネル検査を受けたいと宮古病院へ相談してきたら、どのような対応をしたら良いか」と質問があり、増田副部長より「主たる治療を受けている病院より琉球大学病院へ紹介状を出すのが良い」と回答があった。